岩盤ボーリング柱状図

調査名　一般県道　竹原吉名線　道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-11	調査位置	竹原市吉名町掛之浦			北緯	34° 19′ 26.0179″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 2月 8日～ 令和3年 2月11日			東経	132° 52′ 41.0016″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	TP 21.55m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総削孔長	14.00m					試錐機	東邦DM-03R	
						エンジン	ヤンマーTF90M	ポンプ 東邦BG-2R

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
1			Gr	花崗斑岩	茶褐～灰褐	w5	h4	E	VI	d	D	0[0]100 0[0]100	GL-0.1m以浅は表土。 GL-0.1m～2.0m付近は岩組織が認められる。 指圧で容易に砕け、シルト混じり細砂～中砂状を呈する。 岩級区分:DL(砂質土)				1.15 1.45	26 300												
2	19.55	2.00														26															
3			Gr	花崗斑岩	灰褐～褐灰	w5	h4	E	VI	d	D	0[0]100 0[0]100	指圧で容易に砕け、中～粗砂状を呈する。 硬質な石英・長石粒子を認める。 岩級区分: DM(砂質土)			32	2.15 2.45	32 300					2/8		D/MC						
4	17.25	4.30														37	3.15 3.45	37 300													
5			Gr	花崗斑岩	灰褐～褐灰	w4	h3	E	VI	d	D	0[0]100 0[0]100	指圧で容易に砕け、礫混じり粗砂状を呈する。 所々に径10mm程度の硬質な石英・長石粒子が認められる。 岩級区分: DH(軟岩I)			50以上	4.15 4.44	50 290	290												
6																50以上	5.10 5.30	50 200	200												
7	14.45	7.10														50以上	6.10 6.24	50 140	140												
	13.95	7.60	Gr	花崗斑岩	褐灰 淡橙灰	w4	h3	D	IV	c	CL	10[20]100	亀裂が多くハンマー軽打で割れ、岩片状となる。 コア肌はやや粗い。鉱物粒子径は数mm～10mm程度で比較的大きい。 岩級区分: CL(軟岩I)			50以上	7.05 7.10	50 50	50				2/9								
8												49[68]100				50以上	8.00	貫入不能													
9					暗橙灰							13[37]100	短棒状コア主体とし、一部岩片状コアで採取される。 コア肌は概ね滑らかで所々に棒状コアもみられる。 所々に高角度な亀裂がみられるが、薄い火成岩脈により密着している。 亀裂面は暗褐色を呈する。 GL-10.0m～10.5m付近は、所々に潜在亀裂を認める。 GL-10.5m～11.0mおよびGL-12.3m～12.5m付近は亀裂に沿ってやや脆く、ハンマー軽打で割れる部分があり、コア肌はやや粗い。 岩級区分:CM(軟岩II)																		
10			Gr	花崗斑岩	～	w2	h2	B	II	b	CM	49[98]100											2/10								
11					暗橙							38[73]100																			
12												24[73]100																			
13	8.05	13.50										31[94]100		2/18 13.13																	
14	7.55	14.00	Gr	細粒花崗岩	暗橙 暗橙灰	w2	h2	B	II	b	CH		棒状コアが主体。 コア肌は滑らかであり、非常に硬質でハンマー強打でも割れにくい。 岩級区分:CH(中硬岩)										2/11									
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															